

事業所名

放課後等デイサービス
エクシヴ益田乙吉第2事業所

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

1月

30日

法人（事業所）理念		<p>○一人ひとりの価値観や個性を尊重し、生まれ育った地域でコミュニケーションを大切にしながら寄り添い支える福祉サービスの提供に努めます。</p> <p>○障がいの有無にかかわらず、全ての子供たちに平等な発達の機会を提供し、また、そのご家族も休養を取ることができ、精神的ケアを受け、安心して就労することができる地域づくりを目指します。</p> <p>○職員のワークライフバランスを大切に安定した事業運営を進め、地域雇用に貢献します。</p>							
支援方針		<p>○一人一人の特性を理解し、個性に応じた療育と支援を行っています。「自信をもって 社会に出ていく力をつける」を目標にしています。異年齢集団での活動が、子供たちにとっては、社会生活の第1歩となります。自分の良さ、友達の良さに気づき、認め合える集団での活動がそのまま社会に出ていく力になるものと考えています。</p>							
営業時間		平日	9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし	
		学校休業日	9時	0分	18時	0分			
本人支援	健康・生活	<p>○来所時に健康観察を行い、児童の心身にかわりがないか確認します。</p> <p>○来退所時に身辺整理（荷物の整理や提出物の管理）を自分自身で行うことで習慣化できるようにします。</p> <p>○整理整頓が身につくよう、物品ごとに片付ける場所が分かるようにしておくことで、片付けやすい環境を整えます。</p> <p>○1日の流れや外出時などの説明においては視覚支援を活用するなど、障がい特性に配慮しながら児童の不安を軽減し、活動に参加しやすい環境を整えます。</p> <p>○経口摂取が困難な場合は、胃ろうより滴下注入を看護師が行います。</p> <p>○車椅子やバギーが必要な児童には、乗車時の良肢位の保持を行うと共に、転倒・転落を予防します。長時間同じ姿勢をとることでの弊害を防止するために、適宜バギーから降りて過ごします。</p>							
	運動・感覚	<p>○体を動かす活動を通して、身体機能の維持、向上を図ります。集団での活動においても、個々の感覚の偏りに配慮した環境調整を行います。</p> <p>○農園での作業や地域へ出て行う体験活動、クッキングや音楽療法など、五感を十分に使う活動を行います。</p> <p>○PC使用時や硬筆、食育活動の中で、正しく座る姿勢の習得を行います。</p>							
	認知・行動	<p>○農園での作業や地域へ出て行う体験活動、クッキングや音楽療法などを通して感覚を使う機会を作り、感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行います。</p> <p>○物の機能や属性・形・色・音が変化する様子、大小・数・重さ・空間・時間などの概念形成を図ることによって、それを認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。</p> <p>○認知の特性を踏まえ、絵カードの使用や活動の流れを定位置に示すことで入ってくる情報を適切に処理し、自ら選択して安全に正しく行動できるよう支援します。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>○SSST（ソーシャル・スキル・トレーニング）の活動を通して、他者の気持ちや意図を理解し、それに応じることや場に応じた適切な行動が習得できるよう支援します。</p> <p>○家庭や学校と連携し、一人ひとりに合った言葉、絵カードやジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションを用いて相互理解を図っていきます。</p> <p>○集団活動を通して、他者とのやり取りの場を設けます。児童同士でのコミュニケーションが難しい場合には、職員が間に入り支援します。</p>							
	人間関係 社会性	<p>○協同遊びを通じて、ルールや順番を守るなど、社会性を徐々に身に付けられるよう支援します。</p> <p>○他者との適度な距離感を把握できるように、適切な距離を個々に応じた方法で伝えることや、言葉がけを適宜行うことで支援します。</p> <p>○集団に参加するための仕方やルールを理解し、児童の希望に応じて仲間づくりを支援します。</p> <p>○地域との関わりやボランティア活動を通して、他者とのコミュニケーションをはかり、自分が社会に必要な存在であることを感じられる機会を作ります。</p>							
家族支援		<p>日々の連絡ノートや電話、送迎時などで情報共有を行います。また、定期的に保護者と面談を行い相談援助をします。保護者の就労・長期休暇・緊急時等の預かりニーズに対して、通常の療育時間とは異なる支援時間、延長支援を行っています。</p>				移行支援		主に高校卒業後の進路について、本人・保護者・学校・相談事業所と連携して準備をしていきます。また、移行先との支援方針・支援内容の共有や、子どもの状態、親の意向・支援方法について伝達・連携を行います。	
地域支援・地域連携		<p>学校や相談支援専門員、SSWなど様々な立場の方との連携を行い、本人支援の一層の充実を図ります。</p> <p>地域団体との交流を通して地域の人を含めた地域資源に気づき、卒後や自立した際に安心して暮らせる場所になるよう支援します。</p>				職員の質の向上		新入職員への基礎研修、常勤職員・パート職員への定期研修、外部研修への参加促進を行っています。オンライン動画研修を活用し、常勤・パート職員関係なく、気になる内容をすぐ学ぶことができる環境を整えています。	
主な行事等		お花見、夏祭り、ハロウィンパーティー、りんご狩り、クリスマスパーティー、お別れ会、外食体験、エクシブ活動（月1）							